

# 第39回 全国都市緑化北海道フェア ガーデンフェスタ 北海道2022

開催期間: 2022(令和4年) 6/25(土)~7/24(日)

花の拠点「はなふる」をメイン会場に、ガーデンフェスタ北海道2022が6月25日から開催されます。ガーデンフェスタ北海道2022は、正式名称を「第39回全国都市緑化北海道フェア」といい、花と緑に関する国内最大級のイベントです。

北海道では、昭和61年に開催されて以来、36年ぶりの開催となります。メイン会場では、道内外の企業・団体が制作した庭園のコンテストや、一般公募により募集したコンテナガーデン・ハンギングバスケットのコンテストが開催されます。

また、ガーデンフェスタ北海道2022のメイン会場を花いっぱいでお彩るため、今春には、町内会の皆さまにも花植えに参加していただきたいと考えています。市民の皆さまが長年にわたり取組を進めてきた「花のまちえにわ」を全国に発信できるまたとない機会です。ぜひ皆さまのご協力をお願いいたします。

●開催の詳細情報、プレイベント情報は公式WEBサイトで!

[ガーデンフェスタ北海道2022]公式サイト

<https://garden-festa2022.jp>

ガーデンフェスタ北海道



## 令和3年度 恵庭市町内会連合会役員

会 長	下原 干城	駒場町南町内会長
副 会 長	茶園 利紀	柏陽町西町内会長
◇	石田 嗣雄	恵み野東町内会長
◇	鏡 貢	島松本町町内会長
◇	水上 勝義	北栄町内会長
事務局 長	北林 優	福住町1丁目町内会長
事務局 次 長	佐々木正博	駒場町北町内会長
会 計 長	岡田 豊	柏陽町東町内会長
理 事	桑山 正人	中央町内会長
◇	岡本 和則	柏木町内会長
◇	竹内 章	恵み野南町内会長
◇	鶴田 力	島松仲町町内会長
◇	伊藤 和義	中島松町内会長
監 査 役	反藤 茂	中恵庭町内会長
◇	柴山富治彦	川沿町内会長
◇	中村 忠司	黄金北町内会長

# 令和4年の新春を迎えて

## 新年あけまして おめでとろうございます。

皆さまには、令和4年の輝かしき新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。また、日頃から、各般にわたり深いご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスが猛威を振るい、外出や営業の自粛が進む中、日々の暮らしの様々な活動も大幅な制約を余儀なくされ、恵庭市町内会連合会及び町内会・自治会におきましてもイベント等の中止が余儀なくされる等、活動に大きな支障が生じております。そのような状況の下、町内会・自治会のこれからの活動について何が重要なのかと考えたと、やはり隣近所の「絆」の強化であり、不測の事態に備える活動でなければならないと思っております。近年、地域社会においても住民の意識の変化等による連帯感の希薄のみならず、町内会においても加入率の更なる低下や役員の高齢化等、課題は山積しております。こうした中、先例に倣われることなく、地域住民に対して「目に見える町内会活動」を行うことが重要であるとと考えております。恵庭市町内会連合会としても、引き続き、地域住民が主体となった活動を継続し、誰もが安心して暮らせ住んで良かったと感じることのできるまちづくりに努める所存であります。新型コロナウイルスはいまだに終息しておりませんが、終息しませんが、会員の皆さまには、恵庭市町内会連合会及び町内会・自治会活動に関し、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって幸せに満ち溢れた素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます。



恵庭市町内会連合会会長  
下原 干城



壬寅年  
ジインサイ

## 自治活動 研修視察

10月28日に令和3年度自治活動研修視察として町内会・自治会長23名の参加により開催しました。研修地は白老町に昨年7月にオープンした民族共生象徴空間「ウポポイ」を見学してきました。ウポポイでは博物館見学やアイヌ古式舞踊を鑑賞し、アイヌ文化の多彩な魅力に触れることが出来ました。



## 地域で子供たちを見守っています

安全・安心な登下校の実現に向けて、毎年春・夏・秋・冬に交通安全運動が実施されています。全国で登下校中の児童が巻き込まれる事故が相次いだことから、各町内会では“地域の安全は地域で守る”という考えのもと小学生の登校時間に交通安全旗を持って通学路に立ち見守り活動を行っています。



子どもたちは、地元の方々の暖かい目に見守られながら、毎日元気に通学しています。

## 町内会活動研究大会

11月16日に恵庭市町内会連合会主催の活動研究大会を開催しました。「生活支援コーディネーターの活動について」をテーマに恵庭市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターの方々をお招きし、活動内容の説明の後、包括支援センターの地区ごとに分かれて意見交換会をしました。参加した町内会・自治会長からは、町内会員が抱える悩み相談や町内会の課題などについて意見が出され、活発な議論のうちに閉会しました。



## セーフティハウス・ こども110番旗寄贈

昨年に引き続き今年度も恵庭市建設業協会より、「セーフティハウス・こども110番」の旗が恵庭市町内会連合会に寄贈されました。この取り組みは協会が2010年から続けているもので、市内の通学路に掲示することで子どもたちの見守り活動に繋げようと町内会に協力を要請しているものです。寄贈された旗は各町内会に2枚ずつ配布し、町内の目立つ場所に設置をお願いしました。



# 町内会事業として、こんな活動をしています！ 「防災」「ひとりの不幸もみのがさない」

## 幸町町内会

### 誰もが安心して暮らせるまちを目指して

～自主防災組織・非常災害に備えて～

コロナ禍の影響が続く中、8月29日(日)に検温・手洗い・マスク着用などの対応をして毎年一度開催している防災訓練を町内会会員をはじめとした多くの人の参加で実施しました。

災害対策本部と災害避難所を幸町会館に開設し、各役割・体制の再確認と訓練の概要説明を行い2021北海道シェイクアウトの参加、屋外避難所の構築と災害用発電機による電源の確保と照明設備の設置、非常用炊き出しの演練を行いました。

その後、基地・防災訓練員からの講演とたよれーるみなみから災害時における車イスの運転操作の実施訓練を受講しました。

町内会自主防災では、それぞれが応援者であり、被害者であることから協力的強化をお願いし、人と人の繋がりを意識を共有したと感じた訓練となりました。



## 泉町町内会

### 防犯・防火パトロール事業



泉町町内会では、6月と10月に町内会巡回手順に沿って、懐中電灯や拍子木、防火のぼりを持ちながら声掛けをし、町内を回ることで日頃気付かない町内の危険な場所を確認するとともに、各家を見回り、配達物のたまり具合等、異常がないかどうかの確認をする見守り活動を行いました。

### 花壇と植樹柵等の除草・植栽



日頃、町内会活動に参加が難しい高齢者の方でも花を植えることや除草など、綺麗にすることに喜びを感じる方が多くいるため、5月中旬から11月上旬まで、月1回、花壇と植樹柵の除草、植栽、歩道のごみ拾い等、延べ100名の参加で行いました。

コロナ禍のため距離を保つための活動とはなりませんが、様々な世代が活動することで新たな町内の交流に繋がりました。



## 北柏木町内会

### 自主防災会、防災学習会

9月26日(日)に「備品の保管場所を確認し、災害時に多くの人が使用できる」ことを目的として自主防災会役員11名が参加して訓練を行いました。

訓練では、各種備品の管理場所の確認、トランシーバーの操作と軽易な通話訓練、ショートメールを活用した緊急連絡訓練を行いました。

今後、DIG、防災学習会、緊急災害訓練などを行い、災害時には一人の犠牲者も出さないこと、また、所有している備品の学習会を行い、災害時には多くの人が使えるようにしていきたいと考えています。



## 恵み野南町内会

### コロナ禍の防災訓練

4月25日(日)、自主防災会員17名により、「防災関連資器材」の点検を行いました。

保管場所入口に明記している保管物及び数量を確認し、発電機、投光器は実際に作動させ、問題ないことを確認しました。また、アルプス公園に設置されている防災ベンチ内の備品も確認しました。

年に1回確認し、万が一の事態に備えていきたいと考えています。

7月19日(月)、町内会員の参加を頂き、恵庭市消防島松出張所の支援の下、タイヤの丘公園にて「消火器使用訓練」を行いました。

訓練では、消火器使用手順の説明の後、参加者が訓練用消火器を使い消火訓練を行いました。

「火柱が天井まで達した場合は、初期消火をあきらめ、火元から離れる」、「古い消火器は、期限が来たら交換する」との指導を受け、有意義な訓練となりました。

※なお、計画していた「被災情報伝達訓練」は緊急事態宣言の発令により中止しました。



## えにわ感染対策チーム こびりんず



令和2年7月、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、介護事業所でのクラスターを防ぎたいという思いから、感染対策について正しい知識を得て発信したいという有志メンバーで発足しました。

自分たちの事業所を自ら守ること、市民への感染予防の啓発を目的として活動しています。



2021年9月18日  
北海道医療大学 塚本容子先生による「メディアでおなじみ！塚本容子教授が語るWithコロナ時代の新しい生活の構築」市民向け感染対策講演会を開催しました。

### ワクチン接種後であっても感染対策の基本は変わりません

1)~3)を、すべて継続して行いましょう。症状が出てからでは遅いのです。

#### 1) 手と指をきれいにする

手洗いはまたはアルコールによる手指消毒を、食事前、排泄の後、外出から帰った後、自身の目・鼻・口に触れる前に行いましょう。



#### 3) 3密を回避する

密閉：換気扇があっても1時間に2回5~10分程度、定期的に換気を行う。

密集：飲食を伴う利用は控えましょう。※水分補給は適宜行ってください。

密接：1~2m程度のソーシャルディスタンスを意識する。



#### 2) いつでもマスクは外さない

外出時だけでなく、自宅で家族と会話する際にも常にマスクを着用しましょう。感染しない、感染させないためにも、できる限り不織布マスクの着用を。



## 島松旭町町内会

### 町内会館を新築しました

島松旭町町内会では、会館を所有していないため、町内会にある集会所を借りて活動を行ってききましたが、集会所の老朽化が進み、引き続き借りることが困難となったため、令和元年から町内会館建設について検討を行い、令和3年8月19日に念願であった町内会館を新築しました。

会館名は「島松旭町町内会館」とし、町内会活動の拠点として町内会行事を安心して行うことができるようになり、地域住民の交流や憩いの場として活用が期待されています。



## 島松町内会

### ～島松駅前～ 『コロナに負けるな!』 ライトアップ



島松町内会連合会と島松鳴子会で作る「島松夏祭り実行委員会」は、昨年8月2日から9月28日までの58日間島松駅前、お盆やぐらのイルミネーションを毎日7時から12時まで5時間ラン点灯しました。

例年夏に行われていた「しままつ鳴子まつり」「島松駅前の盆踊り」は、コロナ禍のなか2年間の中止を余儀なくされ、家活が中心の地域の人たちを元気づけようと企画。「コロナに負けるな!」「来年の島松は熱い!」「未来に希望を繋ぐ!」「祭り再開まで笑顔で!」と、四面に横断幕を掲げライトアップのほか、イルミネーションも飾りました。

住民から「今年は、盆踊りやるの?」と期待と反応の声が多く寄せられ、また、島松駅を降りてやぐらが組まれ、灯りがついているだけでもあたたかな気持ちになるという人もいました。

## えにわ 歴史散歩

### 森林鉄道は、王子発電所建設のために敷設された。

文責：恵庭昭和史研究会  
林 嘉男

恵庭市内から盤尻に向かう漁川沿いには二つの発電所がある。土地の人は漁川発電所を「下の発電所」と呼び川上にある王子発電所を「上の発電所」と呼んでいた。王子製紙発電所は昭和2年に建設され昭和4年に操業を開始した。発電所を建設するために資材運搬用として森林鉄道が敷設された。その後、発電所が完成すると昭和6年に恵庭営林署が買収し木材運搬用として利用された。土地の人は安全を無視して、木材の積んだ軌道に乗り込むこともあったという。昭和30年代には中央バスが走っていたが王子製紙が発電所施設の近代化を図るため発電所を無人化。盤尻には最盛期林業関係者を入れたと、500人近くの住民がいたという。無人化された発電所の社宅前には往時をしのぶかのように5月頃になると山桜がひっそりと咲いている。

